

平成 20 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 助川電気工業株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 百目鬼 孝一  
 (コード番号 7711 JASDAQ)  
 問合せ先 取締役管理部長 小滝 理  
 (TEL. 0293 - 23 - 6411)

## 平成 20 年 9 月期中間 (連結・単独) 業績予想との差異 及び通期 (連結・単独) 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 11 月 16 日の決算短信発表時に公表した平成 20 年 9 月期 (平成 19 年 10 月 1 日 ~ 平成 20 年 9 月 30 日) の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 20 年 9 月期中間業績予想の修正 (平成 19 年 10 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日)

##### (1) 連結業績予想

(単位: 百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 ( A )	2,460	147	142	72
今 回 修 正 予 想 ( B )	2,359	87	83	28
増 減 額 ( B - A )	101	60	59	44
増 減 率 ( % )	4.1	40.8	41.5	61.1
(ご参考) 前中間期実績 (平成 19 年 9 月期中間)	2,459	166	175	123

##### (2) 単体業績予想

(単位: 百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 ( A )	2,460	143	140	71
今 回 修 正 予 想 ( B )	2,359	83	80	26
増 減 額 ( B - A )	101	60	60	45
増 減 率 ( % )	4.1	42.0	42.9	63.4
(ご参考) 前中間期実績 (平成 19 年 9 月期中間)	2,459	163	174	101

2. 平成20年9月期通期業績予想の修正（平成19年10月1日～平成20年9月30日）

(1) 連結業績予想

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	4,804	335	328	183
今回修正予想（B）	4,802	249	242	122
増減額（B - A）	2	86	86	61
増減率（％）	0.0	25.7	26.2	33.3
（ご参考）前期実績 （平成19年9月期）	4,759	183	199	132

(2) 単体業績予想

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	4,804	327	324	181
今回修正予想（B）	4,802	244	240	122
増減額（B - A）	2	83	84	59
増減率（％）	0.0	25.4	25.9	32.6
（ご参考）前期実績 （平成19年9月期）	4,759	172	193	115

3. 修正の理由

(1) 中間業績予想修正の理由

（連結業績予想）

当中間期の連結売上高につきましては、エネルギー関連事業は順調に推移したものの、産業システム関連事業において、半導体製造装置向け製品の受注・売上が減少したため、1億1百万円減少いたしました。

利益面におきましては、社内における稼働率、原価管理等は順調に推移いたしましたが、世界的な株式市場の低迷等の影響により年金資産の時価評価額が減少したため、退職給付会計において簡便法を採用しております関係から、退職給付費用が製造原価および販売費及び一般管理費で、それぞれ6千4百万円および2千4百万円前回予想より増加いたしました。このため、営業利益は8千7百万円（前回公表値に比し6千万円減）、経常利益は8千3百万円（前回公表値に比し5千9百万円減）、当期純利益は2千8百万円（前回公表値に比し4千4百万円減）となりました。

（単体業績予想）

連結業績予想修正の理由に準ずるものであります。

(2) 通期業績予想修正の理由

売上高につきましては、前回予想に比し、産業システム関連事業は減少する見込みであります。エネルギー関連事業が増加する見込みでありますので、全体としては、前回公表値とほぼ同額となる見込みであります。

利益面におきまして、原材料の更なる高騰、および、年金資産の時価評価額が中間期末と同等の水準で推移するものと想定し、業績予想を下方修正いたします。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上